



自治会特集

つながりの輪 = ココロの和

「自治会って何しているの？」知ってるようで知らない自治会の活動。それぞれの地域に密着した自治会は、見えないところで皆さんの暮らしに寄り添っています。 問合先 秘書課 ☎(275)6082



住みよいまち自分たちの手で

自治会は、地域住民が快適な暮らしを送れるよう、地域のことは地域の人たちで考えるという「自治」の考え方に基づいて結成されています。現在、市では各自治会の連携を図るための組織である連合自治会に加入している自治会が51団体あります。地域での連携は、過ごしやすい環境づくりだけでなく、自然災害が多発する近年では、防災や防犯対策を行う上でも欠かすことができません。

「遠くの親戚より近くの他人」という言葉もあるように、いざという時の隣近所の方との助け合いは非常に重要です。ライフスタイルの多様化や核家族化などで住民同士のつながりが希薄になる中で、自治会は人と人のつながりをつくる大切な役割を担っています。



自治会活動の様子。1 コミュニティカフェ 2 羽衣セタまつり

つながりが暮らしの彩りに

自治会活動の強みは、「一人では難しいことも皆で取り組むからこそできる」という点にあります。地域をあげた美化活動や実際の避難場所を使用した防災訓練はその強みを活かした取り組みです。このような取り組みに、一人ひとりが参加することで、地域のつながりが育まれていきます。

各自治会ではさまざまな活動を行っており、このような活動は地域のつながりを育むと同時に、皆さんの生活を支える暮らしの彩りとなっています。本市においては、自治会に加入する世帯の割合は68.5%平成30年5月1日時点と近隣団体と比べて高い状況となっています。



3 自主防災訓練 4 介護予防講座 5 クリーンキャンペーン

～地域のつながりを実感しています。～

世代を越えた近所付き合い

だんじりや盆踊り、もちつき大会など、年間を通して地域の行事に参加しています。自治会のお付き合いの特徴は、グループが分かれていないという点だと思います。「子どもたち同士」、「主婦の方同士」だけではなく、家族単位で世代を越えて長年のお付き合いができるということが魅力です。小学生の娘も幅広い年代の友達ができたと。地域で暮らすなかで、自治会が大切なコミュニティ形成のきっかけとなっています。

松尾 陽介さんとご家族の皆さん

顔を合わせる地域のつながり

加入のきっかけは息子が小学生の時に子ども会に入ったことでした。活動を通した近隣の方との何気ない会話が自分の暮らしの情報源になっていることに気がきました。今はSNS等が発達してさまざまなことを調べられますが、インターネットのただで自分の悩みを解決することは意外と難しいように思います。私は近隣の方と顔を合わせて情報交換する中で、子育てのこと等身近な悩みの相談もできるようになりました。

川元 恭代さん

～地域の暮らしに寄り添う活動～

普段、当たり前のように過ごしている地域の環境も、つながりの輪から整えられています。

美しいまちを守るために

環境美化活動



道路や側溝の清掃などを行い、地域を美しく保ちます。古紙回収の実施等でごみの削減にも取り組んでいます。

安全・安心なまちを保つために

防犯対策



暗い夜道を照らす防犯灯。市内には自治会が管理している防犯灯がなんと 3500 箇所以上も存在します。

“いざ”に備えるために

防災活動



自主訓練だけでなく、近隣の方と避難経路を共有すること等で、災害時に迅速な対応を取ることができます。

地域の輪を広げるために

親睦活動



盆踊り大会やだんじり祭りをはじめ、複数の子ども会による合同イベントなど集いの場を創り出しています。



自治会についてのお問い合わせ

「自治会に入るにはどうすれば?」「自分の住む区域がどこの自治会に属するのかわからない」など、自治会に関するお問い合わせは秘書課☎(275) 6082 へ。各自治会の活動の詳細等について知りたい場合は、各自治会の問合先をご案内します。